

# 探訪

## 新ライフスタイル

現在放送中のNHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」では、源頼朝と北条義時が相模の豪族土肥実平の領地である湯河原にて風呂に入るシーンがあった。神奈川県南西部に位置する湯河原町は、万葉の歴史とともに古くから文豪に愛され、隣接する熱海や箱根とは違った、だんまりした温泉町だ。

### 再訪したくなる観光地 令和の戦略



「湯河原惣湯 Books & Retreat」公園をリビングに見立てた空間作りが特徴

しきし2015年には310万人まで落ち込んだ。過去の隆盛には程遠い。風情あるたたずまいにこだわりの料理と風呂を提供する高級旅館はリピーターを獲得して順調だが、これといった特徴がない旅館・ホテルは設備も老朽化し、経営環境は厳しくなる。筆者はこの観光地に生まれ育ったが、かねて「観光客からお金を落としてもらう」という言葉になじめなかつた。顧客目線に立つた新たな商品やサービスを提供し、期待以上の感動価値を生み出すことで再来訪を促す。各地の観光地には、

首都圏から近いこともあり、かつては新婚旅行や団体旅行客でにぎわった。町の泊観光客数は1991年に

本の歴史公園100選」に選ばれた万葉公園内にあり、同公園の運営を受託し

この施設はカフェとコワーキングスペースがある

露天風呂に入り、好きな

本と出会い、ゆったりした

「コト」と「トキ」の体験

に位置する「園内テラス」、

離れにある完全予約制の温

泉施設「惣湯テラス」で構成する。

露天風呂に入り、好きな

本